

佳作

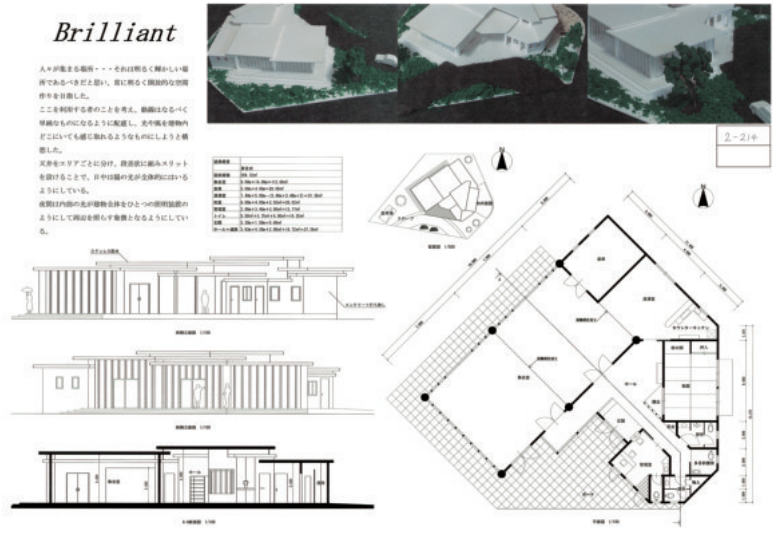
奨励賞

伊豆田 隼平

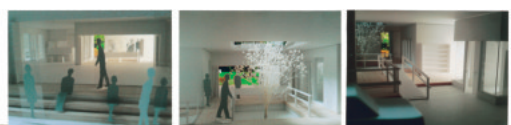
大阪建設専門学校 2年

Brilliant

人が集まる場所・・・それは明るく輝かしい場所であるべきだ
 と思い、常に明るく開放的な空間作りを目指した。
 ここを利用する方のことを考え、動線はなるべく単純なものに
 なるように配慮し、光や風を建物内どこにいても感じ取れるよう
 なものにしようと構想した。
 天井をエリアごとに分け、段差状に組みスリットを設けることで、
 日中は陽の光が全体的にはいるようにしている。
 夜間は内部の光が建物全体をひとつの照明装置のようにして
 周辺を照らす象徴となるようにしている。



春夏秋冬



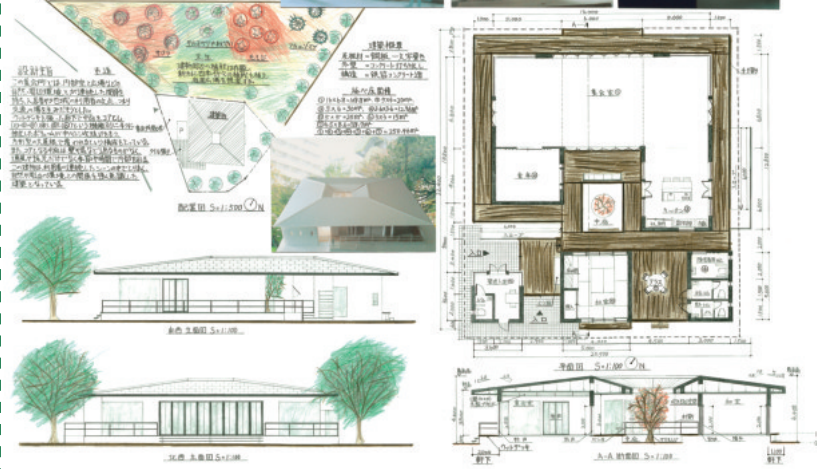
2-12

庄司 竜太

日本理工情報専門学校 1年

春夏秋冬

この集会所では、内部空間と広場などの自然・周辺環境とが
 連続した関係を持ち、入居者や地域の利用者の交点、つまり
 交流の場を生みだそうとした。
 ウッドデッキを張った廊下で中庭をコアとし、(1)+(2)+(3)、
 (4)、(5)、(6)という機能別4つに独立したボリュームが
 中心に吹抜けをもつ、方形型の大屋根で覆われるという構成
 をとっている。
 また、コアとなる中庭は、壁や扉など遮るものがなく、通風や
 採光だけでなく季節や時間で内部を彩る。
 この建物は、利用者の連続したシーンの中で、とりまく自然や
 周辺の環境との関係を強く意識した建築となっている。

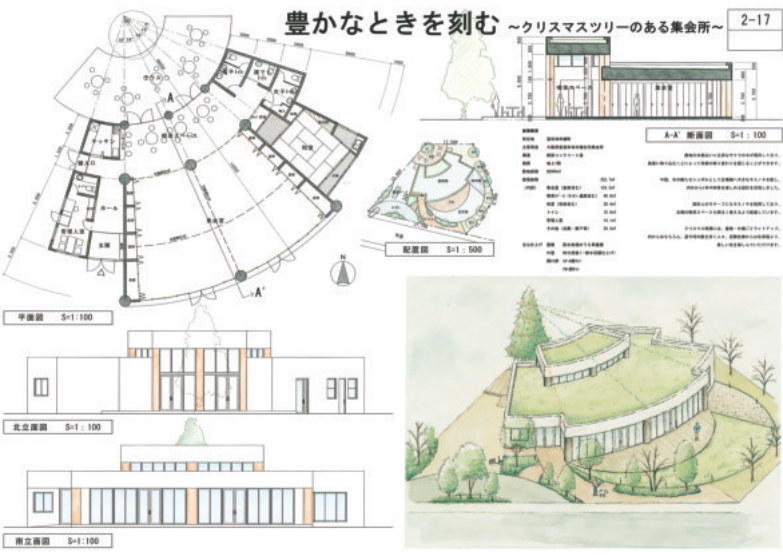


山口 純子

大阪府立夕陽丘高等職業技術専門学校 1年

クリスマスツリーのある集会所

敷地の水路沿いに立派な桜の木が現存しており、風景に取り込む
 ことによって季節の移り変わりを感じることができます。
 今回、冬の新たなシンボルとして広場側へ大きなモミノキを配し、
 内外から一年中四季を楽しめる設計を目指しました。
 設計上のモチーフにもモミノキを採用しており、北側の喫茶スペ
 ースも明るく使えるよう配慮しています。
 クリスマス時期には、建物・外構ごとライトアップ。
 内からはもちろん、道や河川敷を歩く人々、近隣住棟からは各家庭
 より、美しい光を楽しんでいただけます。

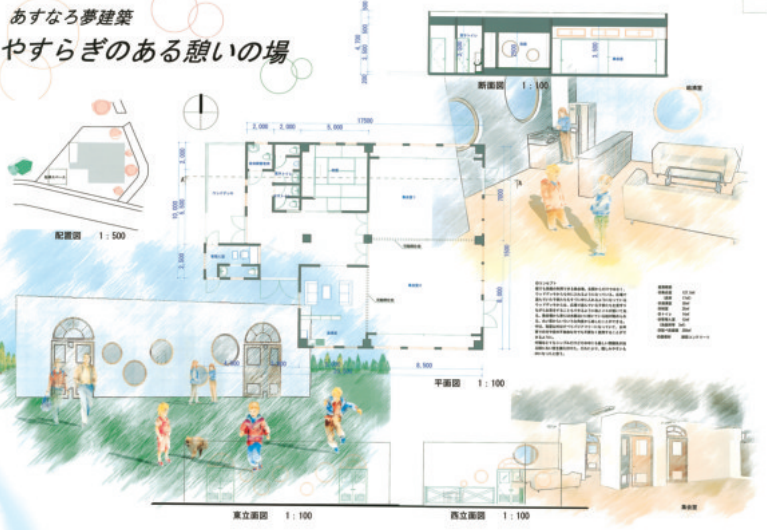


青野 琴子

大阪市立都島工業高等学校 2年

やすらぎのある憩いの場

誰でも気軽に利用できる集会場。玄関からだけではなく、
 ウッドデッキからも中に入れるようになっている。広場で遊
 んでいた子どもたちもすぐに中に入れるようになっている。
 ウッドデッキからは、広場で遊んでいる子どもたちを見守り
 ながらお茶をすることもできるように机とイスが置いてある。
 集会場から春には水路沿いに咲いている桜が眺められる。
 丸い窓から、いろいろな角度から楽しむことができる。
 中は、和室以外はすべてバリアフリーになっていて、お年
 寄りの方や足の不自由な方でも不便なく使用することができ
 るように。
 外観はとてもシンプルだけどその中にも優しい雰囲気が出
 るように丸い窓を備え付けた。それにより、親しみやすいも
 のになったと思う。



調和

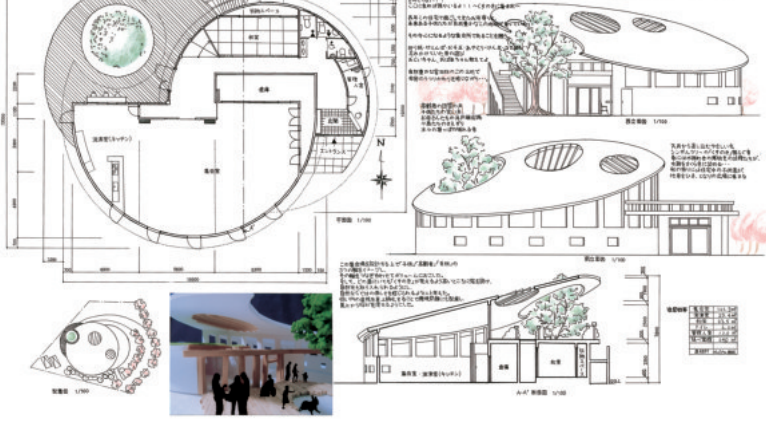


久保 亜弓

大阪市立都島工業高等学校 2年

調和

さみしくない！！
 ここに来れば誰かいるよ！！～くすのきに集まれ～
 長年この住宅で過ごしてきたお年寄り、未来ある子供
 たちが自然豊かなこの地域で育っていく。
 その中心になるような集会所であることを願う。
 折り紙・竹とんぼ・お手玉・あやとり・けん玉・コマ回し・・・
 忘れかけていた昔の遊び
 おじいちゃん、おばあちゃん教えてよ
 自然豊かな富田林のこの土地で季節のうつろいを感じながら・・・



長岡 輝暁

大阪建設専門学校 1年

Canopied hall

いかにして住民と建物との親和度を高めるかを考えた。
 計画地内に広場への近道があれば、住民はそこを通過して
 広場へ向かうだろう。この近道を挟むように建物と壁をつ
 くり、キャノピーを設ける。近道は一見近寄りたくなるが、
 それは建物との「距離」が小さくなった為で、従って時を
 経るごとに住民と建物との親和度はいっそう大きくなる。
 住民と建物の距離が近くなるのなら、ある意味でこの2
 項が同類になるようなカタチを表現してみようと思った。
 キャノピーをぐんと大きくし、建物をすっぽりと覆うようにした。
 こうすることで、2項は「一つ屋根の下にある」という意味で
 同類となる。
 一方で、建物をも覆う大きなキャノピーは、無表情のままだと上階の住民に違和感を感じさせてしまうように思う。
 そこで、キャノピーに四角い穴をぽっかりとあけることにした。この穴が、ある種の愛嬌を担ってくれることを期待して。
 また、穴から入る日射は一部の空気を暖め、気流を生み出し、夏場に快適な空気環境をつくるだろう。

